

8/29 (日)15:00～ 森繁 昇サマーコンサート vol.19

無観客ライブ配信 (当日は会場に入れません。ライブ配信は教会ホームページからご覧いただけます。)

森繁 昇さんのユーモラスなトークと素敵な歌声をお届けします。

森繁さんのオリジナルソングを1曲抜粋してご紹介します。

【プロフィール】



山口県生まれ。大学卒業後、米国テネシー州に渡り、イエス・キリストに出会う。その後、音楽伝道を開始。1986年ハワイに拠点を移す。年間3～5回来日し、各地の教会でコンサートツアーを展開する。

「あかり」 作詞・作曲／森繁 昇 (抜粋)

- | | |
|--|---|
| 1. 真っ暗な 部屋の中
どこが出口か わからない
あかりがないから わからない | 4. 道端に 咲く花は
誰も見ないよ でも きれいだね
私も咲きたいよ |
| 2. デンキはついてても
何にも前が 見えない
あかりがないから 見えない | 6. 私も 生きたい
あかりと一緒に 生きたい
あの 花のように |

教会からのオススメの一冊

「ルワンダ 闇から光へ 命を支える小さな働き」

竹内 緑・著 (日本キリスト教団出版局 発行)

ルワンダの大虐殺をご存知でしょうか。1994年、大統領搭乗機の撃墜をきっかけに、ツチ族とフツ族の対立が激化し、フツ族によってツチ族が虐殺されました。未だに殺された正確な人数はわからず、50万人とも100万人とも言われています。ほとんどの人が家族や知人を失いました。生き残った人も、また、加害者側になった人も、大きな心の傷を負うことになりました。難を逃れて国外に脱出した人々が、大量の難民となりました。

本書の著者である竹内緑さんは、看護師としての働きの後、NGO日本国際飢餓対策機構の現地スタッフとして、1993年、アフリカに派遣されました。大虐殺の発生直後からは、周辺諸国にできた難民キャンプが彼女の働き場となり、初めて現地入りした日本人となりました。彼女はそこで、キャンプに命からがら逃げて来た人々の、想像を絶する様子を目の当たりにすることになります。その中で、凄まじいプレッシャーに押し潰されそうになりながらも、彼らのケアに奔走しました。



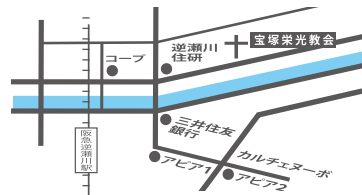
本書には、現地でのかけがえない出会いや、命の危機に面した時にも不思議に助けられた体験が綴られています。いかに彼女の働きが神様に守られ、導かれきたかが伝わってきます。

悲劇から20年以上が過ぎ、憎しみと血に染まった国は、今、部族の壁を越えて手を取り合い、赦しと和解への道を歩み始めています。現在の竹内さんは、もう一度ルワンダに赴き、虐殺によってトラウマを負った人々へのケアという新しい働きに携わっておられます。

神様は癒しと回復を与えてくださいます。本書は、悲劇だけではなく、神様から希望をいただいて未来へと向かう姿も、印象深く描かれています。

集会のご案内

- 主日礼拝 日曜日
- | | |
|-----|---------------|
| 第一部 | 午前9:30～10:30 |
| 第二部 | 午前11:00～12:00 |
- 子どもチャペル ※幼児から中高生対象
- | | |
|-----|-------------|
| 日曜日 | 午後1:00～2:00 |
|-----|-------------|



宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com http://www.takara-eikou.com

希望のダイヤル (聖書のお話)

0797-77-3746

毎週更新。24時間つながります。ホームページからも利用できます。

礼拝 毎週日曜日

第一部 9:30～10:30

第二部 11:00～12:00

わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。



平和をつくる者

8月になると、毎年のように「平和」が論じられます。「平和」はいつも論じられるべきで、論じるだけではなく、真の平和を目指して、たゆまない努力を続けて行くべきです。

けれども、具体的に何をしたらいいのでしょうか。私は若い頃、政治が変われば平和が実現すると考えて、ビラを配ったり、デモに参加したりしました。しかし、いくら頑張っても、政治は変わりませんでしたし、真の平和は実現しませんでした。あの時の失望感を今も覚えています。

でも、失望したままで終わっていません。今は、真の平和への道を知っています。それを見いだしたところは、イデオロギーでも、市民運動でもなく、聖書でした。イエス・キリストはこう言われました。「平和をつくる者は幸いです。その人たちは神の子どもと呼ばれるからです。」(マタイの福音書5章9節)

「平和をつくる者」とは、どういう人でしょうか。その前に、まず誰との平和かをはっきりさせなければなりません。人間は、天地を創造された神によって造られ、神と強い絆で結

ばれていました。ところが、人間は罪を犯し、神に背く者となり、神との絆は断たれてしまいました。これが罪人の私たちの姿です。

神との絆が断たれた私たちは、滅びるばかりはありませんでした。しかし、愛なる神は、私たちに哀れに思われ、ひとり子キリストをお送りになりました。罪なき神の子キリストは、私たちの罪のために身代わりに十字架にかかり、私たちの受けなければならぬ神の裁きを受けてくださいました。

このキリストによって、私たちのすべての罪は赦され、断たれた神との絆は回復されます。神との平和が与えられるのです。平和とは、まず私たち一人一人が、キリストの十字架を通して、神との関係が回復されることから始まるのです。

戦争のない本当の平和が、世界にもたらされることを望みます。しかし、まず自分の魂の問題です。真の意味で「平和をつくる者」になりたいと思います。

あなたは、いかがでしょうか。神様との平和をお持ちでしょうか。



「ベニバナイチゴ ー 紅花苺 ー」

夏の空に まっ白い雲が湧きあがり
太陽の眩しい光線を 一身に浴びながら
歩く山道で ベニバナイチゴの花を見つけた

このあたりは 雪で覆われていた場所だ
雪解け直後 葉が伸び出て 背たけは1m程の
落葉低木の ベニバナイチゴの花だった
名前の通り 濃い紅色をしている
直径3cm程の大きさで 少しうつむきかげんに 咲いている

木いちごの仲間なのに なぜか トゲがないのだ
そして 山で見つける木いちごの中で 唯一赤い花をつける
他の木いちごは 特有のトゲがあり 花はどれも白色である

このベニバナイチゴは 日本固有種で
本州中部地方から 北の日本海側
そして 北海道に分布しているらしい
太平洋側で 見ることはないのだ

花が終わると 実をつける
9月頃 その実は赤く熟して 食べることができる
ただ あまり美味しくはないようだ

主は 常にあなたを導き
焼けつく地で あなたの渴きをいやし 骨に力を与えてくださる
あなたは 潤された園 水の涸れない泉となる

イザヤ58章(聖書)